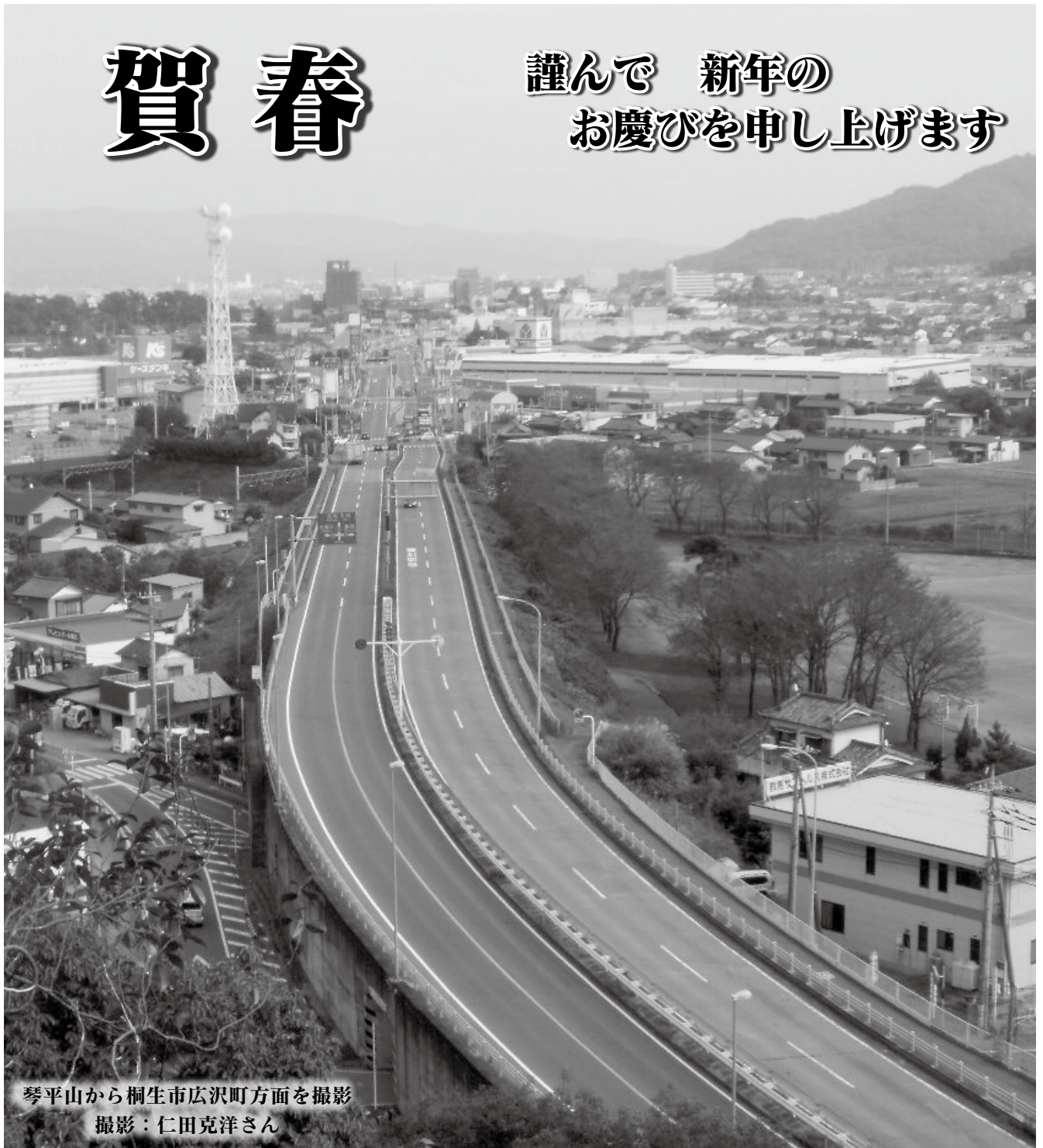


かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館
〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp

賀 春

謹んで 新年の
お慶びを申し上げます



琴平山から桐生市広沢町方面を撮影
撮影：仁田克洋さん

団塊の世代の挑戦

平成23年度第2回市民講座



▲講師の笹澤武さん

のような社会を団塊の世代は如何に生きればよいか』がテーマです。

笹澤教授は、「背景に、戦後の高度成長と引き換えに日本人が置き去りにした人間関係、つまり『人間関係の省略化』が進行していると考えられます。このような社会で、団塊の世代が挑戦すべきは、第二社会人としての社会参加、老いとき間の活用、生涯学習の推進、コミュニケーションへの参加、(人的)ネットワークの構築です」と指摘。

群馬医療福祉大学社会福祉学部長笹澤武先生による「団塊の世代の挑戦(楽しい生き方のヒント)」を演題に、11月10日(木)午後1時30分から平成23年度みどり市第二回市民講座が開催されました。

円高不況、少子高齢化、財政難、年金問題等の社会状況のもと、核家族化が進行し、高齢者の離婚増、限界集落の増加、孤老族、振込み詐欺等の社会問題が発生しています。今回は「こ

また、これら「解決の為の」成功の糸口」として、五感を生かした社会づくりと五無主義から脱皮した人間づくり、能力を發揮できる場づくり、ふれあいによる街づくり、共同の意識づくりが大事ですと説明。「余力の残る、団塊の世代だからこそ可能」と考えられる課題を提起されました。

身近な所から「何を基点に、どう行動すればよいか？」と難しい問題を考察しながらも講師のざつぐばらんな人柄に誘われた笑いの中「東日本大震災を経験した日本が、これから進むべき道筋」を示す2時間で

トイレに悩まない輝く私に 平成23年度第3回市民講座

笠懸公民館交流ホールで「輝く私に！『トイレに悩まない』排尿自立への援助」知っておきたい排尿の基礎知識」をテーマに平成23年度みどり市第3回市民講座が11月25日(金)に開催されました。講師は、群馬大学大学院保健学研究科内田陽子准教授。

加齢により男性は尿が出にくく、女性は尿が漏れやすくなると云う話はよく耳にします。現在では、80歳までに日本人男性の80%が前立腺肥大症に罹患し、40代以上の女性についても50%以上に尿漏れが見受け

した。受講された44人の市民もそれぞれの思いを胸にされたことと思います。

*五無主義とは、孤独性、無力性、無意味性、無規範性、自己疎隔性

られる」と指摘されています。

講座では、「尿漏れ、頻尿には、投薬や治療が必要なものとして筋力低下が原因のものがある為、まずは医師の診断(泌尿器科)を受け、その原因を把握することが大事です。加齢等による筋力低下によるものについては、筋力アップ等で症状が改善した事例が、数多くあります。例えば、40代以上の女性の尿漏れ中「腹圧性尿失禁」が原因のものは女性の尿漏れ原因の4割に達しますが、体重コントロールや便秘治療を行い、骨盤

底筋を鍛えれば、このタイプの頻尿、尿漏れは解消できます。男性の場合は肛門括約筋を鍛える事で頻尿を改善できます」と指導されました。

さらに先生は、「このように深刻で人に言えない悩みである、尿漏れ・頻尿も、正確な知識を持つて対処すれば、1人で悩むことなく乗り越えることが出来ま」と持論を展開、筋肉強化体操も含め、2時間の講座を終了しました。

終了後も、10人程度の受講者が先生を囲んで相談。別室ではエコーによる「膀胱内残尿検査」を受けた人もかなりいたようです。



▲講師の内田陽子さん

響くハーモニー

3つの広場

第47回「いこいの広場」が11月15日(火)夜7時30分から公民館1階ロビーで開催されました。今回は女性コーラスの「コール・コスモス」でした。色鮮やかなブルーの衣装で、皆さんとてもきれいでした。

第1部は日本の四季メドレー(花・浜辺の歌・小さい秋見つけた・雪山讃歌)を



最後に、この道、小さな木の実・ふるさとなど全10曲を会場の皆さんと一緒に歌いました。

ある女性は、このコンサートを楽しみにしていて、ワクワクしながら会場に来たそうです。「本当に元気がございます。これからもいろいろな企画をして欲しい」と話していました。

3つの項目を集中審議 第3回公民館運営審議会

第3回みどり市公民館運営審議会が11月28日(月)みどり市東支所2階第2会議室で開催されました。

当初の開催場所は教育庁舎が予定されていましたが、協議事項に東公民館を東支所に移転することについての協議が加わることとなり、委員に現場を見てもらってから協議するために会場が変更となりました。

会議では、最初に報告事項で次の項目が説明されま

した。

(1)各公民館の事業及び運営状況について

(2)各専門部会の報告について

(3)大間々公民館の設置について

専門部会の報告では「大間々公民館設置に関する要望書」作成に向けた協議内容について、部会長の冨野幸一さん(大間々町)から報告されました。

大間々公民館の設置につ

いてでは、①厚生会館の公民館化②厚生会館に公民館と社会福祉協議会の同居案の2つが提出されたことの経緯が説明され、これに対し大間々部会で検討されたことが報告されました。

続いて、協議事項では、(1)会派の公民館利用について

(2)東公民館の移転について

(3)大間々公民館要望書について

の協議が行われました。

会派の利用については、社会教育法第23条(以下、

法第23条)で公民館の使用を禁じている「特定の政党

の利害に関する事業を行い、又は公私の選挙に関

し、特定の候補者を支持すること」の解釈について再

確認がされました。みどり

市の公民館では法第23条関係施設の開放運用事例を公

民館運用内規で定め、政党や議員の選挙運動を除く研

修会や議会報告会などの利用を条件付きで認めていま

す。会派についても同様に認めることになりました。

東公民館の移転について

は、経費の問題等も含め、東支所と公民館の合理的運用方法を検討する中で東公民館を東支所の2階・3階に移転することを提案されたことが説明され、公運審の意見が求められました。公運審はこれに対し、「この場で是非の回答はできない。利用者の声を良く聞きながら進めて欲しい」としました。

大間々公民館の要望書については、大間々部会で作成された要望書案の内容を検討しました。

要望書の内容は厚生会館で社会福祉協議会と公民館が同居するよりも大間々図書館の2階を活用した方が効果的であると考えていること、職員体制の確保、住民の意見の尊重などを盛り込んだ要望書を教育長へ提出することになりました。

大間々公民館の要望書については、大間々町民のため、2地域活性の為の拠点作りとして早急に決定してもらいたいものです。

父親目線の子育て

男女共同参画講演会

みどり市男女共同参画講演会及び表彰式が11月13日(日)、笠懸公民館交流ホールで開催されました。

男女共同参画とは、「男

は仕事、女は家庭」という考え方から脱却し、男女がともに助け合い、尊重し合いたいあらゆる場面で支え合う社会の実現を目指すもの。

この運動の一環として公募した標語と写真の入賞者

が発表されました。

標語の部は一般・中学生小学生高学年・小学生低学年の4部門それぞれの最優秀賞と優秀賞の計12人。

(入賞者は別表参照)

写真の部は最優秀賞Ⅱ境野新太郎、優秀賞Ⅱ高沢俊雄、入賞Ⅱ今泉幸一、大澤弘治(敬称略)。標語と写真両賞の計15人が表彰されました。

みどり市男女共同参画標語コンテスト入賞一覧

1	小学生低学年の部	最優秀	ほくができること わたしができること 協力する思いやり	笠北小3年	坂寄 太進
2		優秀	お父さんお母さんいっしょにお料理おいしさもえがおも2ばいだね	笠小3年	中川 ねね
3		優秀	せいべつでその人らしさは分からない	笠北小3年	坂口 武輝
4	小学生高学年の部	最優秀	男女共同初めの一步はわが家から	笠北小5年	新保 翔大
5		優秀	家事、育児、男女分けずに助け合おう	笠北小6年	藤巻 志音
6		優秀	決めないでほくと私のできる事	大間々北小6年	清水 彩花
7	中学生の部	最優秀	性別であきらめないでその仕事	笠南中3年	中島ひかる
8		優秀	性別でみんなの権利をわけないで	笠南中2年	野口 真矢
9		優秀	気付き合おう男女の差別心の問題	笠南中3年	竹内 悠薫
10	一般の部	最優秀	いんじゃない父が洗濯母しは刈り	大間々町	関根 浩
11		優秀	子育て人育て自分育て手を取り合ってできること	笠懸町	石川理恵子
12		優秀	しつけには夫婦で協力素直な子	笠懸町	大澤 弘治

講演会は「林家木久蔵流がんばらない子育て」。

講師の林家木久蔵さんはテレビ番組「笑点」メンバーの木久扇さんの息子。真打の落語家。2007年に親子共著の「がんばらない子育て」を出版、同年の親子大賞2007選考委員

特別賞を受賞。

講演内容は、木久蔵さんを育て上げた木久扇さんの子育てのあれこれ。「口においしいものを入れないと良い言葉が出てこない。多忙な父だったが夏休みには必ず家族旅行をした。有言実行の手本を示す努力家の

父を尊敬していたから反抗期がなかった」など、心に響くエピソードをたくさん語りました。そして古典落語の一席のおまけつき。

男女共同参画?と、お固くこだわることなく、楽しいひとときを過ごせた講演会でした。

阿左美の歴史を探索会

歴史探訪(旧尾島町)

新田荘に徳川氏を訪ねてと銘うった歴史探訪を11月23日(水)、阿左美の自然と歴史を探索の会が行なわれました。

同会は発足後、阿左美地区の歴史について、学習会や史跡見学、さらに地域内の清掃など地道な活動をしています。

今回は、鎌倉時代から新田一族だった徳川氏関連の史跡などを訪ねました。同会の国井さんから徳川氏と見学先の旧尾島町の世良田東照宮や満徳寺等のかかわりについて事前学習で予

備知識を得て出発。

まず、新田荘歴史資料館を訪ね、徳川氏発祥の地としての歴史や長楽寺を中核とした11箇所もの建築物や遺跡が国指定史跡(平成12年11月指定)となっている6万坪の広大な敷地を見学。鎌倉時代、徳川義季が開いた長楽寺ではその歴史・意義などの説明を受け理解を深めました。なかでも最も有名な東照宮は、三代将軍家光の代に造営されたもの。拜殿は桃山時代の建築様式を遺し、全国数あるなかでも將軍が建立したもの

の一つであることや文化価値の高い建物の修理費用など維持管理の困難さ等々、宮司からの説明に納得しきりのようでした。

歴史探訪の目玉のひとつ縁切寺として著名な満徳寺(正式名・徳川満徳寺)は、鎌倉の東慶寺と並んで日本に二つしかない寺。徳川家康公の孫娘千姫にかかわる由緒により縁切寺の特権をもつようになったといわれています。

最後は、足尾銅山街道の終着駅の亀岡(御蔵番「高木家」)を見学。足尾から運ばれた銅は亀岡の蔵から約一キロ南の前島河岸から江戸へと舟出しされたその史実に思いをはせつつ歴史探訪は終了しました。

市の芸術・文化や歴史にふれる みどり市3公民館合同事業

市民の交流と地域再発見を目的とした「富弘美術館と関東菊花大会見学・散策バスツアー」(みどり市3公民館合同事業)が11月6日(日)に開催され、参加者26人は市内の施設や催しを見学しながら交流を深めました。

午前9時に市のバスでみどり市役所大間々庁舎北側駐車場を出発し、渡良瀬溪谷の紅葉を楽しみながら東町へ向かいました。



▲旧花輪小学校記念館で説明を聴く参加者

午前は東町の代表的な施設である富弘美術館で心あたたまる詩画の世界に浸り、旧花輪小学校記念館では、星野祐一郎さん(旧花輪小学校管理委員会)の説明を受けて施設や東町の歴史に触れました。

午後は大間々町に戻り、みどり市観光ガイドの会3人の案内のもと、ながめ公園で行われていた「関東菊花大会」の華やかな菊作品を観覧。天明7年(1787年)創業の岡直三郎商店では社員の小川さんから施設や醤油の製造工程の説明を受けながら醤油蔵を見学。同店で買い物した後、みどり市役所大間々庁舎北側駐車場に戻り解散となりました。

防災研修・防災地図作成

2区防災委員会

笠懸町第二区防災委員会は大震災などに地域・家庭はどう備える?」をテーマに、12月4日(日)笠懸町二区公民館で、講師に群馬工業高等専門学校の上卓准教授(環境都市工学科)をむかえて防災研修を行いました。

講演は地域防災に関心をもつこと。明日は我が身である「ことの一点につき」と、日頃からの備えの重要性を強調。歴史からの教訓に学ぶと共に、とにかく自分の生命を大切にすると、自分の生命を大切にすると、人の智慧を改めて学ぶことの重要性に気づかされた点が浮きぼりになったと話していました。

当初は高津戸峡周辺の散策も予定されていましたが、午後から天気が悪化したため中止となりました。参加者は、バスを降りる際に「ありがとうございました。楽しかったです」と担当の職員に話しかけていました。

東町と大間々町の歴史や文化にふれながら、一日を楽しんでいました。

に私たちはどう対処したらよいのか。

地震防災のキーワードは、避難ルートの確保、避難先の確保。東日本大震災でもこれらの対応が生死をわけたケースが多いとのこと。家庭では、飲料水、衣類、毛布、ラジオ、タオル、薬等を万が一に備えておくこと。また、被害発生時における隣近所の助け合い(互助)が必要で、普段からの近所つき合いを大切にしておくことも今回の震災の教訓のひとつになっているとのこと。

地域では、一人暮らしの

状況、家族の居場所、防災タウンウォッチング(危険箇所の確認)など、さまざまな情報の共有も過去の教訓で、自身の調査・研究からも明らかであることも話されました。

家庭でできること、地域全体で考え災害に備えておくことの重要性を特に強調して研修会は終了しました。

1 防災地図を作成・掲出

2 区防災委員会は、これまで「防災計画の作成」「防災研修」「地区内の防災点検防災マップの作成」「防災訓練」「防災機材の整備」「防災だよりの発行」等、ハード・ソフト両面の活動を展開してきました。

去る10月、これまで区内の調査・点検の結果をまとめ、区内7箇所「防災地図・災害時避難集合場所」を記載した掲示板を設置しました。防災地図は避難集合場所に12箇所、他に防火設備、降雨時の冠水箇所などが記されています。

防災委員会では「常日頃から関心をもって欲しい」と話しています。

思い伝わる作品発表 市内小中学校児童生徒作品展

市内小中学校児童生徒の作品展が笠懸公民館ふるさとギャラリーやロビーで11月18日(金)～24日(木)まで展示されました。

1階ロビーでは、図工・美術作品が展示され、おじいちゃんおばあちゃんが孫の作品を見つめながら、うれしそうに、にこやかな笑みを浮かべ話していました。

た。若いお母さんは「この子はサッカー少年だったんですね。いい思い出が残りますね」とうなずき、感心していました。

2階ロビーでは、理科の自由研究の作品が展示されそれぞれ工夫して努力した様子が伺えました。特に今

年は震災の影響もあり、水がいかにか大切に考えさせられました。ペットボトル浄水器に色水を入れ、何度も繰り返しきれいな水になるまでの過程を分かりやすく説明していました。生活に必要な水を作る事の大変さが伝わってきました。

また、液化現象はなぜ起こるか、木の成長や森林の役割など、子どもたちの研究の成果はどれも素晴らしいものでした。

一際目を引いたのは本物のサッカーシューズを絵の中に嵌め込んだものでし



▲ 1階ロビーの図工美術作品展示

パソコンは本当に便利です！ ～PCで作る年賀状～

笠懸公民館を利用し、パソコン操作を学習している市内のPC愛好会(五団体)がパソコンを活用した「年賀状の図案発表会」を

11月6日(日)～11月16日(水)までの10日間、笠懸公民館ふるさとギャラリーで開催しました。

愛好会に所属する会員のほぼ全員が出品展示するこの展示会は、毎年この時期

になると開催されます。会員の年齢層は、30代～70代後半、特に中高年が多く、女性が大半を占めているとの事です。

図柄は、山、水彩画、書など得意とする趣味の分野を題材にしたもの、家族やお孫さんの近況報告を兼ねたものが多く、元旦には、楽しい年賀状となって届けられる事でしょう。

代表の新島さんは「このような年賀状をパソコン初心者でも、一年程度の学習で作れるようになります。パソコンを始めた方何

平成24年度 笠懸地域文化祭 企画広報部員大募集!!

文化祭をスタートからつくりあげていく企画広報部員を募集します。あなたのアイデアを活かし、みんなで楽しい文化祭にしてみませんか？

今年の笠懸地域文化祭は？

10/20(土)、21(日)の2日間を予定しています。

笠懸公民館と笠懸野文化ホールを会場に開催します。

企画広報部の仕事は？

文化祭全体の企画運営や広報、各部門の連絡調整を担当します。(第1回企画広報部会を2月中旬に開催する予定です。)

●応募資格

文化祭の企画会議(会議は主に夜間開催)や文化祭開催期間中に運営スタッフとして参加できる人

●申込期限 平成24年2月10日(金)

●問い合わせ・申込み先

笠懸公民館 電話 76-2211 FAX76-2836
〒379-2311 みどり市笠懸町阿左美 1581-1

パソコンを始めた方何時でも歓迎します。体力が低下し、外出が難しくなる高齢者にとって、今後パソコンは外部とのコミュニケーションは外部とのコミュニケーションや買い物に、必須の道具になると思われます。始めてみると意外に簡単です。パソコン苦手は喰わず嫌いではないでしょうか？」と話しています。

(新島さん)へ。
パソコンをまだ始めていない人も、これを機会に文明の利器を掌中にしては如何？



設立準備委員会の活動始まる 「みどり市災害ボランティアの会」

みどり市社会福祉協議会では、3月11日の大震災の影響で延び延びとなっていた「みどり市災害ボランティアの会」の設立に向けての協議会を再開しました。

11月22日(火)、「みどり市災害ボランティアの会」の設立準備委員会(委員11人、東町5人、大間々町2人、笠懸町4人計11人)が東町の「まごころ」で開催されました。

みどり市社会福祉協議会の森下係長の司会で進められ、①会則(案)の検討②設立準備委員会の体制について③平成23年度災害ボランティア講座の開催等々について協議されました。

①会則の条項では会員に法人を含めるかが論議されましたが、今後の活動の中で検討課題になりました。また、経費の項では、ボランティア保険料は自己負担が望ましいのではとの結論

となり、会費(年額千円)を頂くことになりました。

②設立準備委員会の役員体制は会議の出席者の互選により、委員長に土谷芳治さん(笠懸町)、副委員長に

県から優良図書館表彰

笠懸図書館

11月17日(木)、第9回県図書館大会の席上で笠懸図書館が、今年度の優良図書館として、県教育委員会表彰を受けました。

これは「県教委が社会教育の中核施設である図書館の充実振興をはかるため、その運営が地域社会の繁栄と住民の生活文化の向上に顕著な実績をあげている図書館」を毎年一館表彰しているものです。

笠懸図書館は、関係機関・団体・住民が参加して、

桑原政市さん(大間々町)、山崎祐司(東町)、書記に松島みどりさん(笠懸町)が選任されました。

委員会では「みどり市災害ボランティアの会」の設立に向けて活動して下さる方を募っています。

詳細はみどり市社会福祉協議会にお問い合わせください。

その基本的なあり方・方向性を協議する委員会をつくり建設したもので、平成9年に開設されました。現在は12万8千冊余の蔵書を有し、年間35万冊をこえる貸出し実績をあげています。

同館は重点目標として①資の収集・整備・保存の充実、②こどもの読書活動の推進、③学校との連携・協力、④障害者サービスの強化、⑤各年代層への生活、諸活動の支援を柱に日々活動をすすめてきました。

コラム豆電球



駆けつけ三杯は

意味があつた?

祝いの肴には数の子は卵が多いことから子孫繁栄を、黒豆はマメで達者なこと、田作りに用いられるカタクチイワシは五万米の別名で豊作を意味すると聞いたことはないだろうか。

これら三つの祝い肴は、式三献のときに一献ごとにつまむお通しに使われていた。式三献とは、大中小の順に三つの盃を台に重ね、上の小盃から順に大盃まで全員が三まわり回し飲みをする儀式のこと、酒がひと回りす

ることに食べる肴が祝い肴である。

宴会の席に遅れると「駆けつけ三杯」といつて立て続けに三杯、酒を飲まされることがあるが、これは式三献の名残で、「ほかの者はすでに三回りしてきた盃で酒を三杯飲んだのだから、お前も同じだけさっさと飲め!」という意味があつたらしい。

時間をかけてチビリとやるのが嫌いな人はわざと遅れて宴席に着き「駆けつけ三杯、いただきます!」と、自分から声をだして、豪快にグビグビやるといい。これは礼儀になつたことなのだ。

特色ある事業として、貸出冊数を倍にして利用者の利便性を高かった。小学生以下のこどもにスタンプカードを配布し読書推進をはかった。全小学校・クラスに図書館の行事予定やおすすすめ本を「しろくまんだ

より」として毎月配布。その他「読み聞かせ講座」「工作教室」「一日図書館員」「こども探検隊」「夜のこわいお話し」「作家による講演会」など、図書館活動の底辺の拡大に努めたことが評価されました。



投稿

再び、音楽の愉しみ(14)
余閑人(2区)

クラシック音楽を聴き始めて早や四十数年が経った。そして、コレクションとして蒐集したレコードやコンパクトディスク(CD)は千五百枚を数える。

若い頃、乏しい小遣いを工面し初めて購入したレコー

このコーナーは、市民のみさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

ドは、レナード・バーンスティン指揮ニューヨーク・フィルの演奏するベートーベンの交響曲第5番「運命」で、昭和42年4月28日に購入したとレコード台帳に印されている。

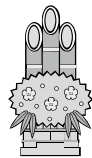
交響曲は私が良く聴くジャンルの一つで、「交響曲の父」と呼ばれるハイド

ンは104曲残しているが、演奏会で聴く機会は少ない。モーツアルトは41曲あり、30番以降が演奏会で聴く機会が多い。私が好んで聴いているのが25番や40番の交響曲だ。

最近の音楽誌を読むとマーラーやブルックナーの作品のレコーディング化が多い。マーラーには95分を超える大曲もあり、一つの楽章がハイドンやモーツァルトの交響曲より長いものもある。ブルックナーの曲

雅友会 四季の会

十一月句会



秋空へ弾む喚声トランポリン
霜野原背筋を凜と眉の月
小春日の布団叩きしリズム音
山茶花の道と名付けて朝夕に
菊の里斜面彩る花の数
大根の葉に初霜のうす化粧
苦みある柚子の砂糖煮香りけり
庭石の落葉二、三を掃き残し
土守る豆引く姉の二重腰

太田ミヨ子 佐藤 淳子 金 光子 小林 君江 森田千代子 太田 ハナ 赤石 文子 江原 紀子 高橋 和美

は最初は難解と感じられるが、聴くほどにその魅力に陥りそう。私が好んで聴くのは第2番や第8交響曲だ。

多くの作曲家が交響曲の作品を残している。その中でベートーベンの第9交響曲「合唱付き」は人類史上

最高の傑作だと思う。今のところ、この作品を超える音楽は見当たらないと思っ

笠懸短歌サークル 十一月例会



風 伊藤 澄江
溪谷をトロッコ列車は軋みゆきほほに冷たし晩秋の
持ち続けし夢一つつつあきらめて古希さへ近し秋も
たけゆく 植竹 正子
ほほ朱く喜びいさみ告げにくる孫は「鉄棒今日はお
来た」と 上村 征子
法螺貝をたづさへて来し被災者の遺跡の庭に哀調ひ
びかす 神山 初代
「此れより北木曾路」の石碑苔むしてそこより歩む
石畳の路 橘内 文夫
足もとに絡みつきたる野良猫の慣れ慣れしさにパン
を与ふる 近藤ふさ子
籠に穫る柿に紛るる柿落ち葉の紅の深さが幾ひらか
あり 関口 定夫
物の名の出でこぬことも良しとせむ前ぶれもなく閃
くあれば 平山 勇
秋蒔きの種は芽生えて乾きたる荒畑覆ふ青菜のみど
り 引田 正男

公民館喫茶コーナー

パチャ くちや

開店日・開店時間のお知らせ

開店日・開店時間
火・水曜日 10:00 ~ 16:00
木・金・土曜日 10:00 ~ 19:30

(公民館や文化ホールで開催される事業・催し物などにより変更する場合があります。)